

# 慈恵園だより

第20号

■発行所■  
 芦別市旭町28番地  
 特別養護老人ホーム  
 芦別慈恵園

■発行責任者■  
 皆木辰吉

■印刷所■  
 (有)ワタナベ企画いんさつ

## 笑顔がいっぱい!!

## もみじの家



もみじの家は、新しいデイサービスとして八月に開設しました。

昔ながらの造りの民家を利用し、家庭的な雰囲気の中でゆったりと穏やかな二日を過ごして頂いています。

機能訓練は日常生活内でのリハビリになります。その内容の一部をご紹介します。

春先から秋にかけては、庭の手入れや畑作業を通して、足腰の訓練を行います。今年、枝豆を収穫しましたが、早くも来年は何を植えるか楽しみにしています。

また、お米ときやお味噌汁作り、ご飯やおかずの盛付けなど、昼食の準備や後片付けもご利用者さんにお手伝いしていただいて、キッチンでは、お料理の事に限らず、自宅での過ごし方や趣味の事、昔話も飛び出し、いつも賑やかに話題が尽きません。





# 馴染みの地域で住み続ける

## 北海道で初めてサテライト型居住施設建設決定

新しい福祉の考え方として、出来る限り地域で過ごす、なじみの方々と共に過ごす、地域と施設と一緒に生活できるようにと考え出されたのが『サテライト型居住施設』です。

『サテライト型居住施設』とは、

- \*現在の特別養護老人ホームの定員の一部が家族や地域住民との交流を深め、少人数で家庭的な生活を行ないます。
- \*本体の特別養護老人ホームは、個室化・少人数での介護ができるように改修をして、個別ケアを充実させていきます。

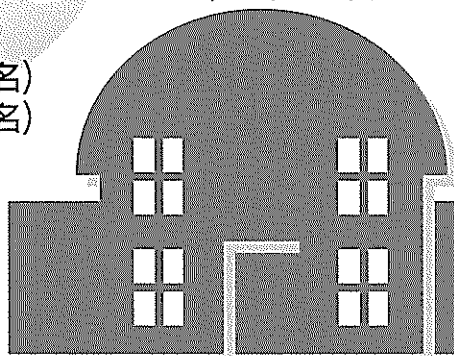
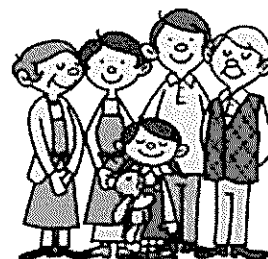
平成19年4月より

この様に変わります

【現在】

定員：106名+ショートステイ6名

個室：38室  
 2人室：11室 (22名)  
 4人室：13室 (52名)



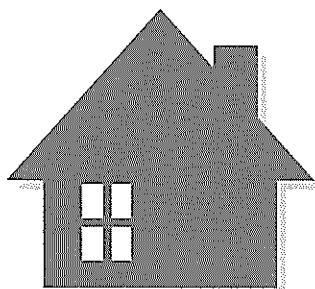
芦別慈恵園

旭町28番地

【今後】

北4条西2丁目へ

サテライト型居住施設



定員：16名  
 ショートステイ4名(新規)

※全室個室  
 ケアプラン相談センター  
 訪問介護事業

平成19年4月から

本体特養は

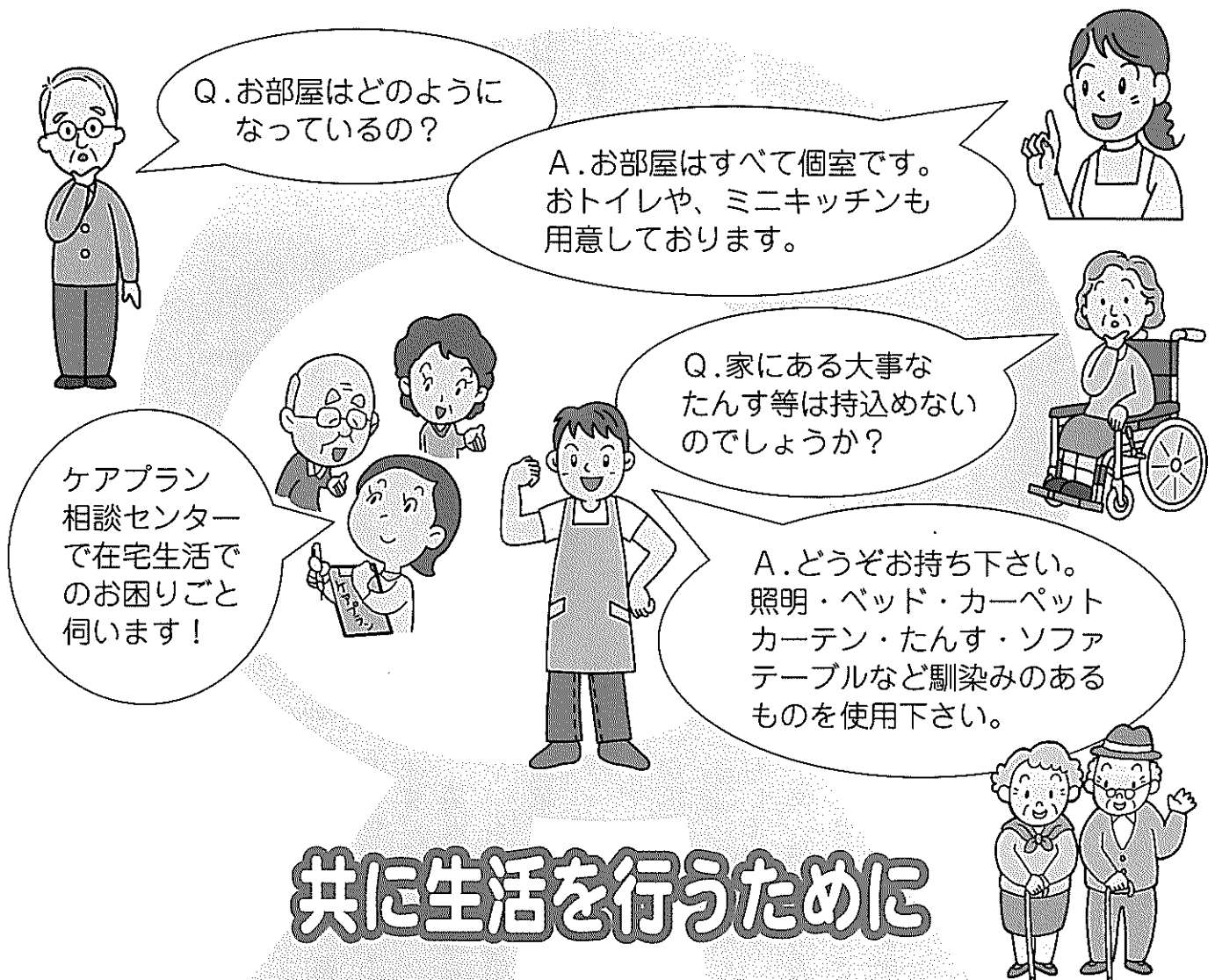
定員：90名  
 ショートステイ6名

個室：52室  
 2人室：2室 (4名)  
 4人室：10室 (40名)  
 に変更します

# 『新しい福祉の考え方』 (芦別慈恵園の構想)

- ◎ 施設を作るのではなく「住まい」をつくる
- ◎ アパートやマンションの感覚でフロア・事業所ごとに玄関を用意する
- ◎ 居室内についてのものは本人で用意
- ◎ 地域交流スペースを設置

～地域のサークル活動や児童等も利用できる様に～



Q. お部屋はどのようになっているの？

A. お部屋はすべて個室です。おトイレや、ミニキッチンも用意しております。

Q. 家にある大事なたんす等は持込めないのでしょうか？

A. どうぞお持ち下さい。照明・ベッド・カーペットカーテン・たんす・ソファテーブルなど馴染みのあるものを使用下さい。

ケアプラン相談センターで在宅生活でのお困りごと伺います！

## 共に生活を行うために

### 【地域へ出向く】

- \* 花見、町内会の運動会
- \* クリーン作戦
- \* 古切手や使用済みテレカ収集
- \* サテライト型特養ご利用者が、町内会の各サークル活動等に参加をする。

### 【地域の方を迎える】

- \* ボランティアの募集 ⇒ 個別レク対応
- \* 花壇作り
- \* 盆踊り（夏祭り）開催
- \* ラジオ体操
- \* ご家族と共に気軽にできる内容（食事を一緒にとったりする）

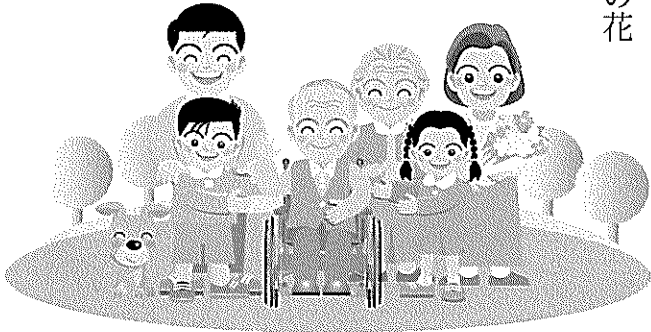
# デイサービス

今年4月より、利用定員を4名増員して、24名体制で行い早や半年が過ぎました。

それに伴い、入浴を午前と午後に分けて行った事が利用者様からも、体調などの点で良いと言って頂き、ゆったりと入浴出来て、好評です。

又、体操も入浴の関係で利用者の皆様には、時間の余裕が出来て参加も多くなっています。昼食時は、みそ汁やご飯の盛り付けなどを利用者様が積極的に行っており、食事時も楽しく笑い声も聞えています。

作業レクでは、夏の花火大会の立体絵も3ヶ月かけて、ついに10月末に完成致しました。11月からは割箸を使って、五重の塔造りに挑戦しております。完成致しますしたら、次回の『慈恵園だより』で、お知らせ致します。



▲ この季節が一番好きね



▲ デイの畑で穫ったカボチャを食べて「おいしい〜」

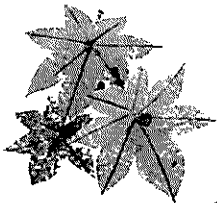
## 在宅介護支援センター

支援センターでは、今年度より、市内二ヶ所【東頼城と中央町内会】で介護予防教室を実施しています。東頼城は月一回第二木曜日・朝賀様宅、中央町内会は月一回日曜日・もみじの家にて開催します。

最近、外出機会が少なくなってきた方や、不安や相談事がある方、興味のある方は、一度参加して見ませんか？

参加希望の方や詳しい内容が知りたい方は左記へ連絡願います。もみじの家での開催につきましては、事前に回覧等でお知らせします。皆さんのご参加をお待ちしております。

又、他地域の方で興味のある方もご説明させていただきますので、ご連絡下さい。よろしく願いいたします。



◎お問い合わせ先

芦別慈恵園

在宅介護支援センター

電話 24-2200

相談員 大下 美由紀

# 声の広場

◆夫婦で子ども4人を育てることで精一杯でした。畑仕事や呉服屋さんから注文を受けて和服の仕立てをしながら生活を支えてきました。長く深川で暮らしてきたので、芦別に友達がいなくて寂しく思うこともあり。短期入所を利用することで、体操やリハビリ、ティータイムでの会話などで友達ができてきました。

◆80歳になるまで病院にかかったこともなく、元気にしてきましたが、歳のせいか自宅で転倒してしまい入院しました。退院して自宅で生活できるように、短期入所を利用してすることにしました。歩行器を使って散歩もできるのでリハビリにもなります。きれいな個室でトイレも部屋のすぐ横にあるので夜でも安心です。

◆日中は車椅子で園内の散歩をしたり、リビングで唄を聴きながら楽しんでいきます。

今月は短期入所とデイサービスご利用の皆様です。

## ご利用方法

短期入所生活介護はご家族が一時的に介護できないなどの理由で、要支援・要介護の方まで、1泊2日からご利用いただけます。

皆様の担当介護支援専門員までご相談ください。

◆今年の7月からデイサービスを利用しており、早半年が過ぎました。自宅にお風呂がないので入浴を楽しみに利用しております。その他にも楽しみはたくさんありますが、職員の方が皆やさしく助かっています。腰や足が痛ければ畳の部屋で休ませてくれたり、お風呂も湯加減がちょうどいいように熱めにセットしてくれます。お陰で本当に温まり、いいお風呂に入らせてもらっています。これから毎週利用しますのでよろしくお願ひします。

◆毎週楽しく利用させてもらっています。私は、今年の夏に腰痛で

入院、手術しました。その入院中に脑梗塞となり言葉がスムーズに出なくなりました。お医者さんからは、お友達などとよくお話しなどをするといいと勧められ、以前から利用しているデイサービスを利用しています。お陰さまで、腰痛は少しは残っていますが、身体の動きも良くなったし、言葉もだいぶスムーズになるようになりました。話をするのも楽しくなってきました。これからも体に気をつけながら生活していきます。



短期入所専用室



ご厚意ありがとうございました  
平成十七年六月十日 敬称略



## ▽寄付金

- (芦別市) 伊藤きみ子、工藤フミ、武田栄治
- (富良野市) 猿渡正之
- (神奈川県) 菊地れい子

## ▽寄付物品

- (芦別市) 千葉淳一、川田准一、藤山敦子、西本三平
- (室蘭市) 山本マキ子

## ▽ボランティア・訪問団体

- ともしび会、ボランティアはまなす、ボランティアどんぐり、ボランティアふきのとう、琴星会、ナザレン教会、野ばら、すみれコーラス、芦別少年少女合唱団、山下チエ子、佐藤翠、大崎文子、阿部美苗、真田利恵子、野原光代

## お譲り下さい

お家で使わなくなった  
 ものをお譲り下さい  
 (ソファ・整理タンス  
 ・テーブル等)



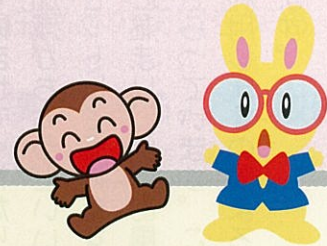


● 富良野ひよつとこ踊り (男子職員は飛び入りです)

● 売店コーナー

● 大正琴美音の会のみなさん

# 第19回 ふれあい会



● ショッピング中で～す!!

● 大白慢の歌声聞いてネ

◇ 現在、慈恵園では利用者と一緒居  
室の中を自分らしい雰囲気の一部屋に  
なる様に模様替えをしています。どの部  
屋も個性があり楽しくなっています。(K)

◇ 今年の秋は例年になく暖かい。私に  
とつての味覚の秋も長く続き、体重も  
増加。何か運動を考えると考えるが、歳と時  
間の無さを嘆く今日今頃。(O)

◇ 取材のため「もみじの家」に…。輪  
になって花札を楽しむ様子は、のんび  
り、ゆったり時間が流れて…。つい眠  
気に襲われ記憶をなくし…。(I)

◇ もう冬がやってきました。また、除  
雪との闘いが始まります。朝からぐつ  
たり、機嫌も悪く出勤なんてことに…。(F)

## 編集後記

● デイサービスセンター  
「湾里湖紅葉見学」仲良し4人組で～す。

